

道路構造物の老朽化対策



一括ダウンロード

(1) 道路構造物の老朽化の現状

- ① 橋梁の老朽化の現状
- ② トンネルの老朽化の現状

(2) 老朽化対策に向けた動き

- ① 道路の老朽化対策の本格実施に関する提言

(3) 老朽化対策とは

- ① 老朽化対策とは
- ② 老朽化のメカニズム
- ③ 長寿命化計画

(4) 老朽化（損傷・補修）事例

- ① 橋の代表的な損傷(三大損傷)
- ② 地方公共団体や国が管理する橋梁の損傷事例
- ③ 地方公共団体や国が管理する橋梁の補修事例

(5) 老朽化における取り組み

- ① 直轄国道における橋梁点検内容
- ② 地方公共団体への支援活動の取り組み
 - 橋梁技術支援セミナー
 - 橋梁等点検講習会
 - 橋梁保全実践講座
- ③ 地方公共団体への支援体制

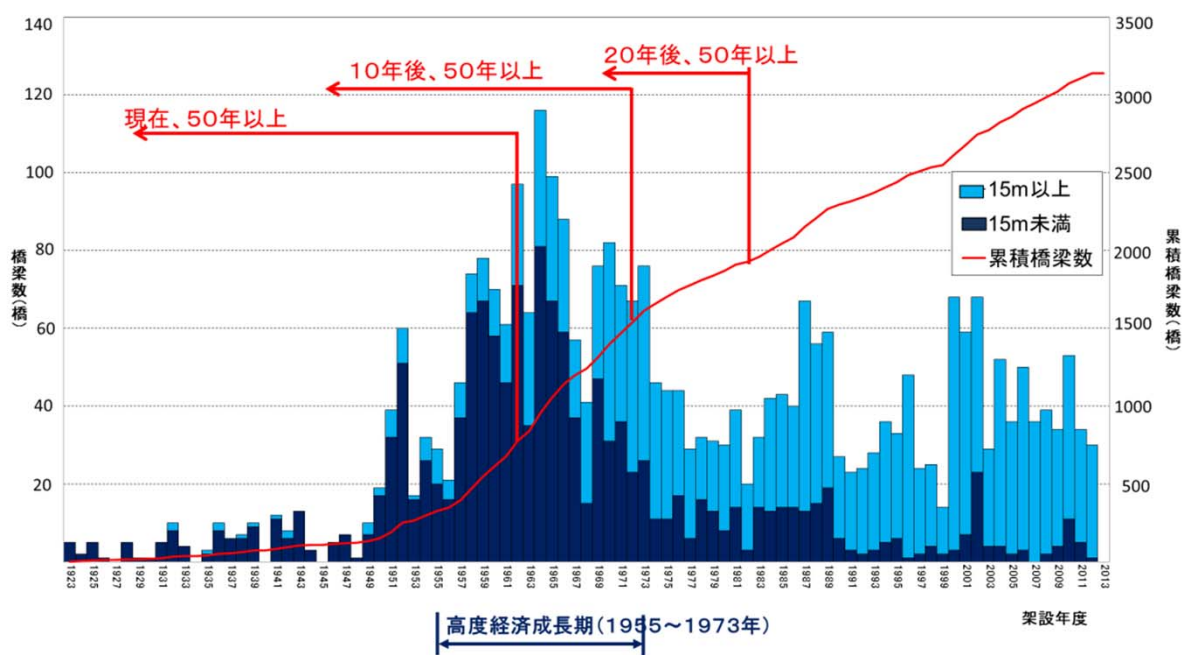
(1)道路構造物の老朽化の現状

① 国が管理する橋梁の老朽化の現状

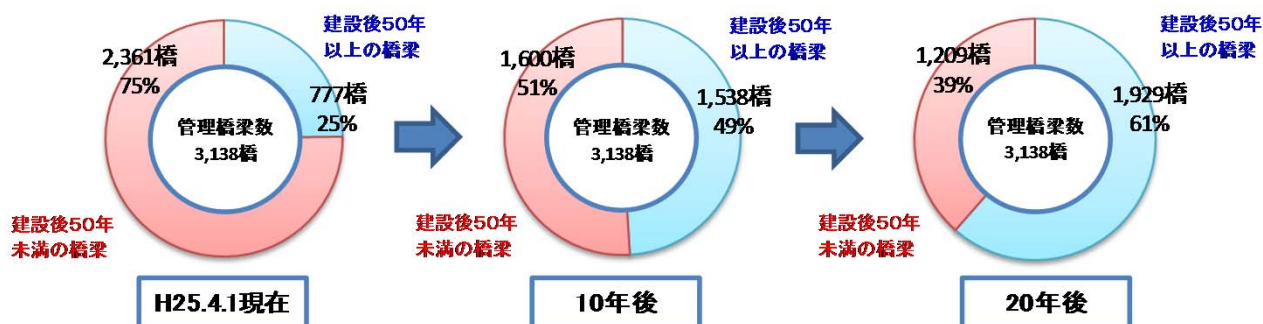
●中国地方整備局が管理する橋梁は、平成25年4月1日現在3,138橋(L=2m以上)であり、高度経済成長期(1955年～1973年)に全体の約4割にあたる約1,350橋が建設されています。今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、補修・架替えが必要となることが想定されます。

中国地方整備局における建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合は、現在の約25%から20年後には約60%にまで急激に増加します。

架設年次別の橋梁箇所数分布



経過年数別橋梁数 (L=2m以上)



(1)道路構造物の老朽化の現状

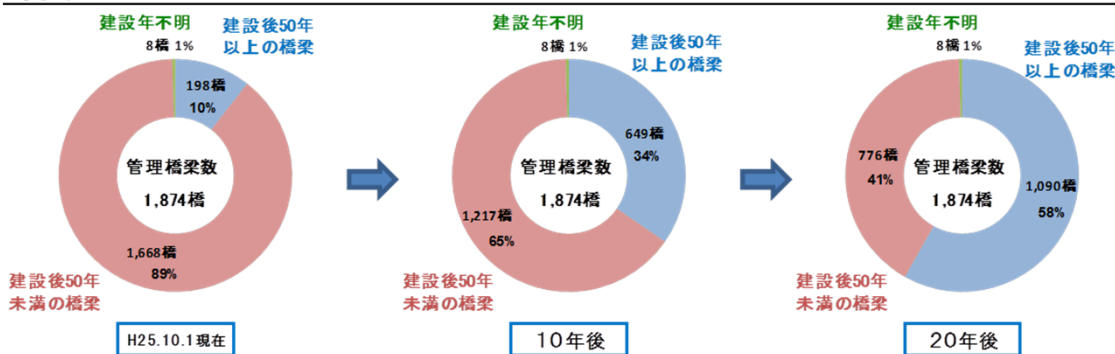
① 地方公共団体が管理する橋梁の老朽化の現状①

●中国地方における地方公共団体が管理する橋梁は、平成25年10月1日現在15,734橋(L=15m以上)であり、今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、補修・架替えが必要となることが想定されます。

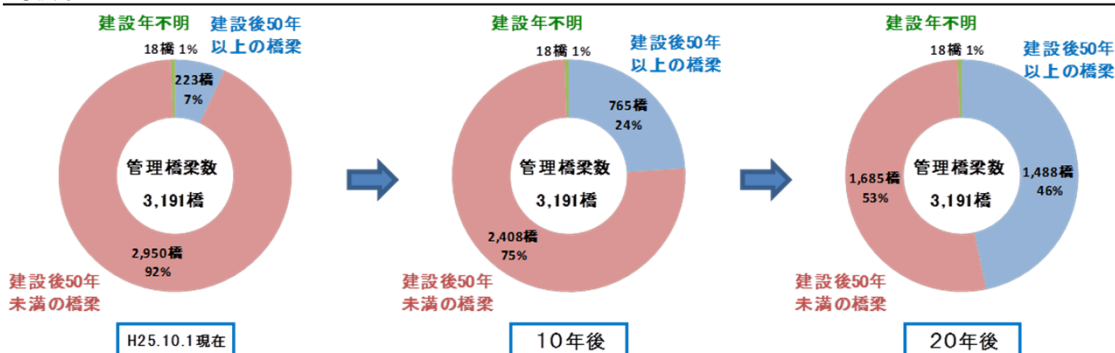
各県政令市別の建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合については、下記のとおりであり、20年後には5～6割にのぼります。

経過年数別橋梁数 (L=15m以上)

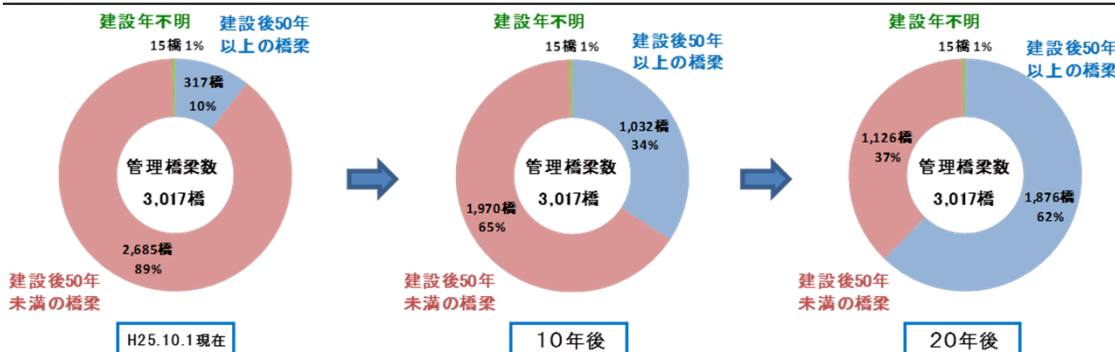
鳥取県



島根県



岡山県

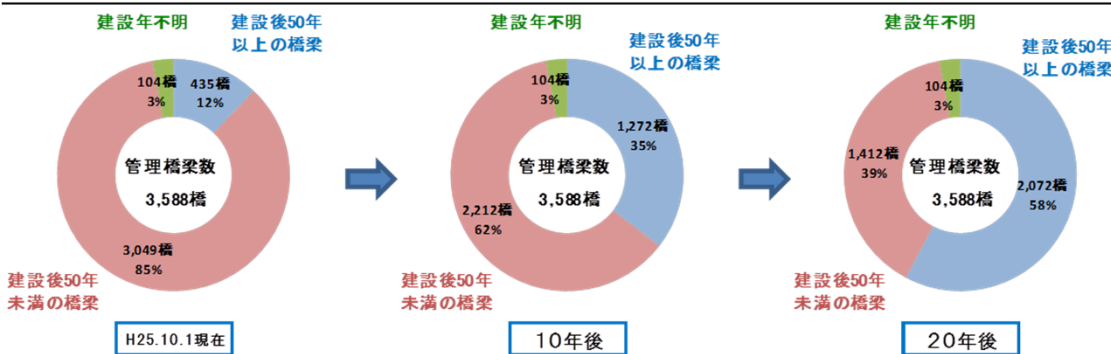


(1)道路構造物の老朽化の現状

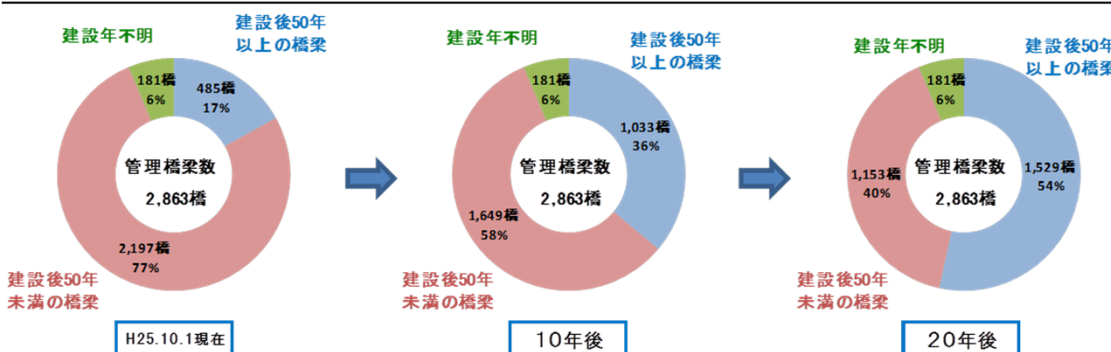
① 地方公共団体が管理する橋梁の老朽化の現状②

経過年数別橋梁数（L=15m以上）

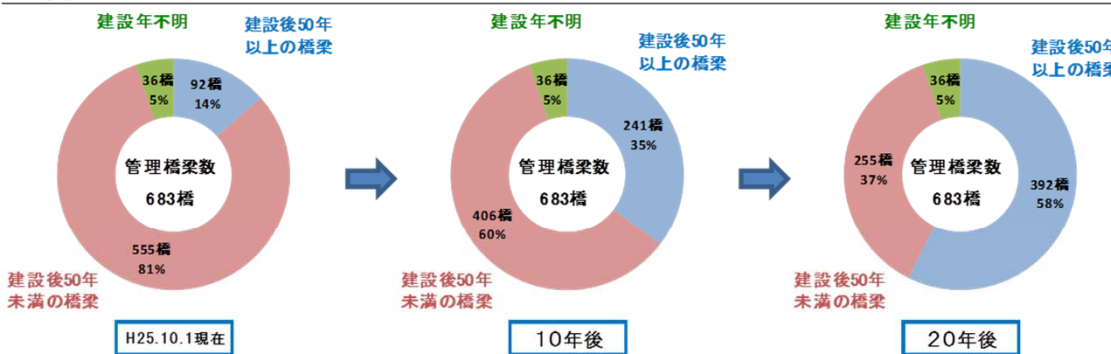
広島県



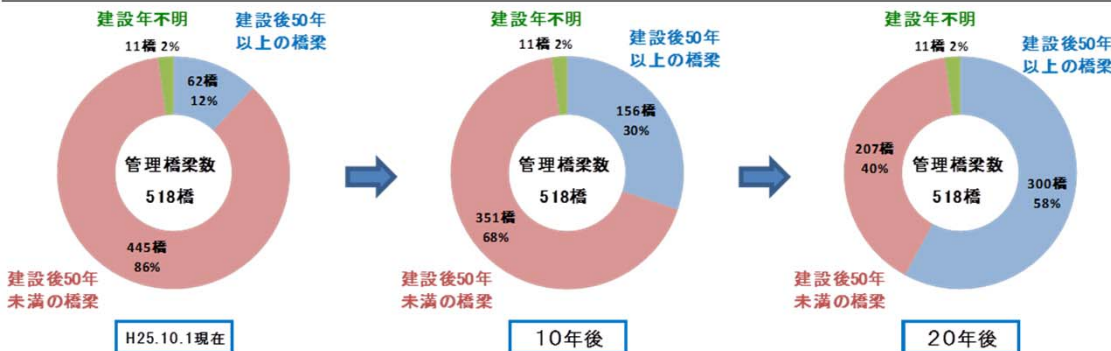
山口県



広島市



岡山市



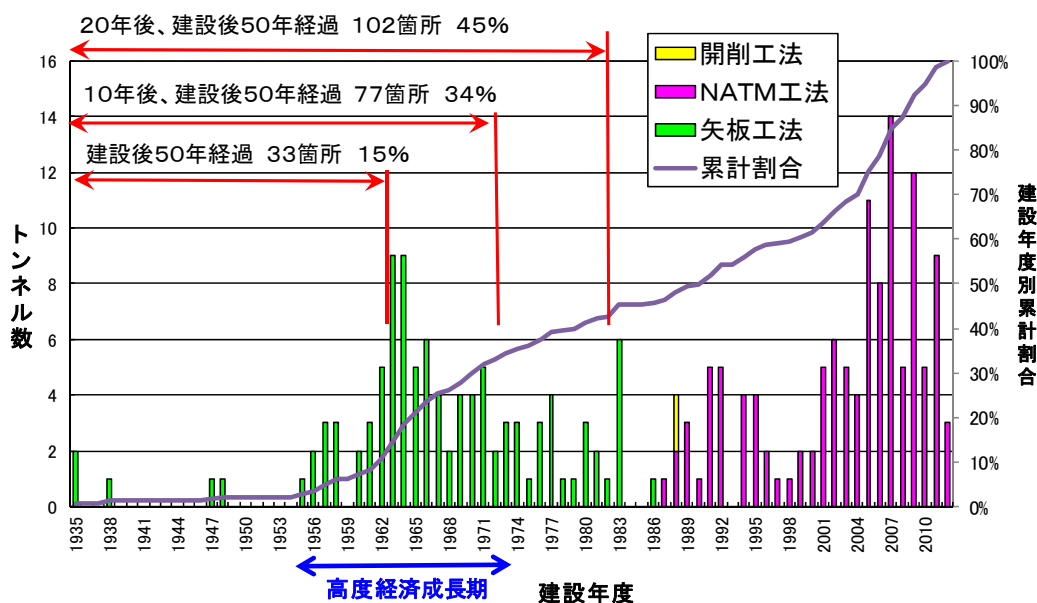
(1)道路構造物の老朽化の現状

② 国が管理するトンネルの老朽化の現状

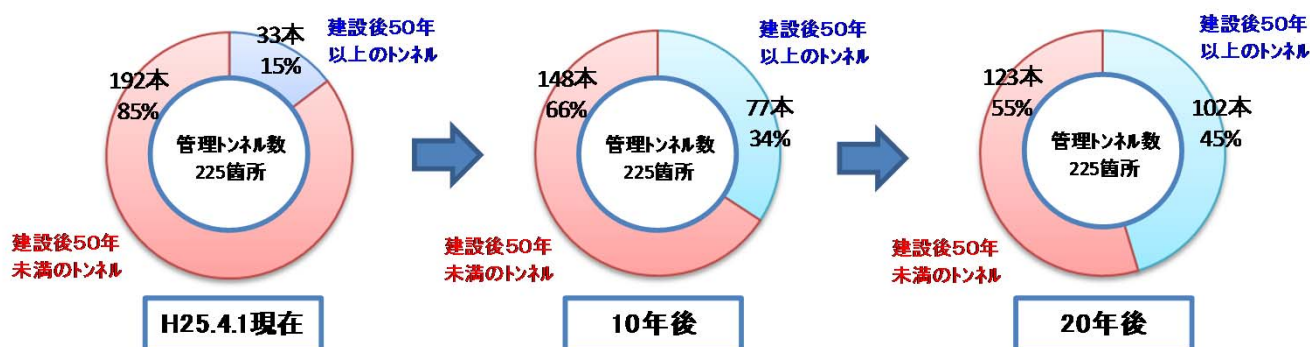
●中国地方整備局が管理する供用中のトンネルは、平成25年4月1日現在225本であり、このうち、高度経済成長期(1955年～1973年)に全体の約3割にあたる72トンネルが建設されています。今後、これらトンネルの高齢化が一斉に進むことから、補修を必要とするトンネルが増加することが想定されます。

中国地方整備局における建設後50年以上を経過したトンネル本数の占める割合は、現在の15%が20年後には45%と急激に増加します。

建設年度別のトンネル本数分布



経過年数別トンネル数



(2)老朽化対策に向けた動き

①道路の老朽化対策の本格実施に関する提言

●平成26年4月14日(月)、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会において、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」がとりまとめられ、家田部会長(道路分科会長・基本政策部長)から太田大臣に対して、提言が手交されました。

【1. 道路インフラを取り巻く現状】

(1)道路インフラの現状

- 全橋梁約70万橋のうち約50万橋が市町村道
- 一部の構造物で老朽化による変状が顕在化
- 地方公共団体管理橋梁では、最近5年間で通行規制等が2倍以上に増加

(2)老朽化対策の課題

- 直轄維持修繕予算は最近10年間で2割減少
- 町の約5割、村の約7割で橋梁保全業務に携わっている土木技術者が存在しない
- 地方公共団体では、遠望目視による点検も多く点検の質に課題

(3)現状の総括(2つの根本的課題)

メンテナンスに関する最低限のルール・基準が確立していない



点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを回す仕組みがない

【2. 国土交通省の取組みと目指すべき方向性】

(1)メンテナンス元年の取組み

本格的にメンテナンスサイクルを回すための取組みに着手

○道路法改正【H25.6】

- ・点検基準の法定化

法に規定する技術的基準は、道路の修繕を効率的に行うための点検に関する基準を含むものとした

- ・国による修繕等代行制度創設

高度の技術を要するもの等、法に定められた要件を満たす修繕工事等については、国が代行可能

○インフラ長寿命化基本計画の策定【H25.11】

『インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議』

⇒インフラ長寿命化計画(行動計画)の策定へ

メンテナンスサイクルを構築・継続・発展させるための取組の方針

(2)目指すべき方向性

①メンテナンスサイクルを確定(道路管理者の義務の明確化)

道路法に基づく点検や診断の基準を規定

②メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築

予算、体制、技術を組み合わせ、各道路管理者におけるメンテナンスサイクルを持続的に回す仕組みを構築

(2)老朽化対策に向けた動き

①道路の老朽化対策の本格実施に関する提言

●産学官のリソース(予算・人材・技術)を全て投入し、総力をあげて本格的なメンテナンスサイクルを始動【道路メンテナンス総力戦】

【3. 具体的な取り組み】

(1)メンテナンスサイクルを確定(道路管理者の義務の明確化)

各道路管理者の責任で以下のメンテナンスサイクルを実施

【点検】

- 橋梁(約70万橋)、トンネル(約1万本)等は、国が定める統一
的な基準により、5年に1度、近接目視による全数監視を実施
- 舗装、照明柱等は適切な更新年数を設定し点検・更新を実施

【診断】

- 統一的な尺度で健全度の判定区分を設定し、診断を実施

『道路インフラ診断』

(省令・告示H26.3.31公布、同年7.1施行予定)

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態

【措置】

- 点検・診断の結果に基づき計画的に修繕を実施し、必要な修繕ができない場合は通行規制・通行止め
- 利用状況を踏まえ、橋梁等を集約化・撤去
- 適切な措置を講じない地方公共団体には国が勧告・指示
- 重大事故等の原因究明、再発防止策を検討する『道路インフラ安全委員会』を設置

【記録】

- 点検・診断・措置の結果をとりまとめ、評価・公表(見える化)

(2)老朽化対策に向けた動き

①道路の老朽化対策の本格実施に関する提言

●産学官のリソース(予算・人材・技術)を全て投入し、総力をあげて本格的なメンテナンスサイクルを始動【道路メンテナンス総力戦】

【3. 具体的な取り組み】

(2)メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築

メンテナンスサイクルを持続的に回す以下の仕組みを構築

【予算】

- (高速)○高速道路更新事業財源確保(通常国会に法改正案提出)
- (直轄)○点検、修繕予算は最優先で確保
- (地方)○複数年にわたり集中的に実施する大規模修繕・更新に対して支援する補助制度

【体制】

- 都道府県ごと『道路メンテナンス会議』を設置
- メンテナンス業務の地域一括発注や複数年契約を実施
- 社会的に影響の大きな路線の施設等について国の職員等から構成される『道路メンテナンス技術集団』による『直轄診断』を実施
- 重要性、緊急性の高い橋梁等は、必要に応じて、国や高速会社等が点検や修繕等を代行(跨道橋等)
- 地方公共団体の職員・民間企業の社員も対象とした研修の充実

【技術】

- 点検業務・修繕工事の適正な積算基準を設定
- 点検・診断の知識・技能・実務経験を有する技術者確保のための資格制度
- 産学官によるメンテナンス技術の戦略的な技術開発を推進

【国民の理解・協働】

- 老朽化の現状や対策について、国民の理解と協働の取組みを推進

(3)老朽化対策とは

① 老朽化対策とは

●高度成長期に集中して建設された多くの橋梁等の道路構造物の高齢化が急速に進んでいく状況であり、一部の施設で老朽化による変状が散見され始めました。

一方、多くの道路構造物を管理している地方公共団体においては、これらの対策を推進することが重要なものの、技術、資金、人材不足等の課題を抱えています。

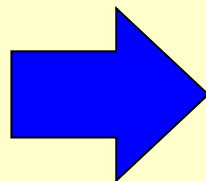
このため大切な資産である道路ストック(=資産)を長く大事に保全するとともに、安全で安心な道路機能の確保や構造物のライフサイクルコストの縮減等を図るため、定期的な点検により早期に損傷を発見し、対策を実施します。

●予防保全の事例

雨水による支承の腐食(昭和48年建設)



対策前(建設後37年経過)



金属溶射工にて補修



対策後

橋梁点検による損傷の発見と対応(例)

(3)老朽化対策とは

②

老朽化のメカニズム

●橋の代表的な損傷には、橋の三大損傷とされる「塩害」「アルカリ骨材反応」「疲労」があり、放置することにより劣化が進み、橋の安全性に影響を及ぼす劣化要因となります。この他にも、雨水による鋼材の腐食や凍害・中性化が原因となるコンクリートの剥離など、さまざまな損傷原因があり、その原因に即した対応が必要のため定期的なメンテナンスが必要となります。

◆架設後50年以上が経過し架け替えに至った事例

厚東川大橋や新寿橋では、老朽化対策と耐震性向上のため、大規模な架け替え工事を行いました。



国道190号 厚東川大橋(山口県宇部市藤曲)

- ・1935年建設 (コンクリート橋)
- ・塩害による主桁、下部工の損傷が激しいため、1997年に架け替え (経年数62年)



国道188号 新寿橋(山口県岩国市川下町)

- ・1953年建設 (コンクリート橋+鋼橋)
- ・主桁、下部工の損傷が激しいため、2012年に架け替え (経年数54年)

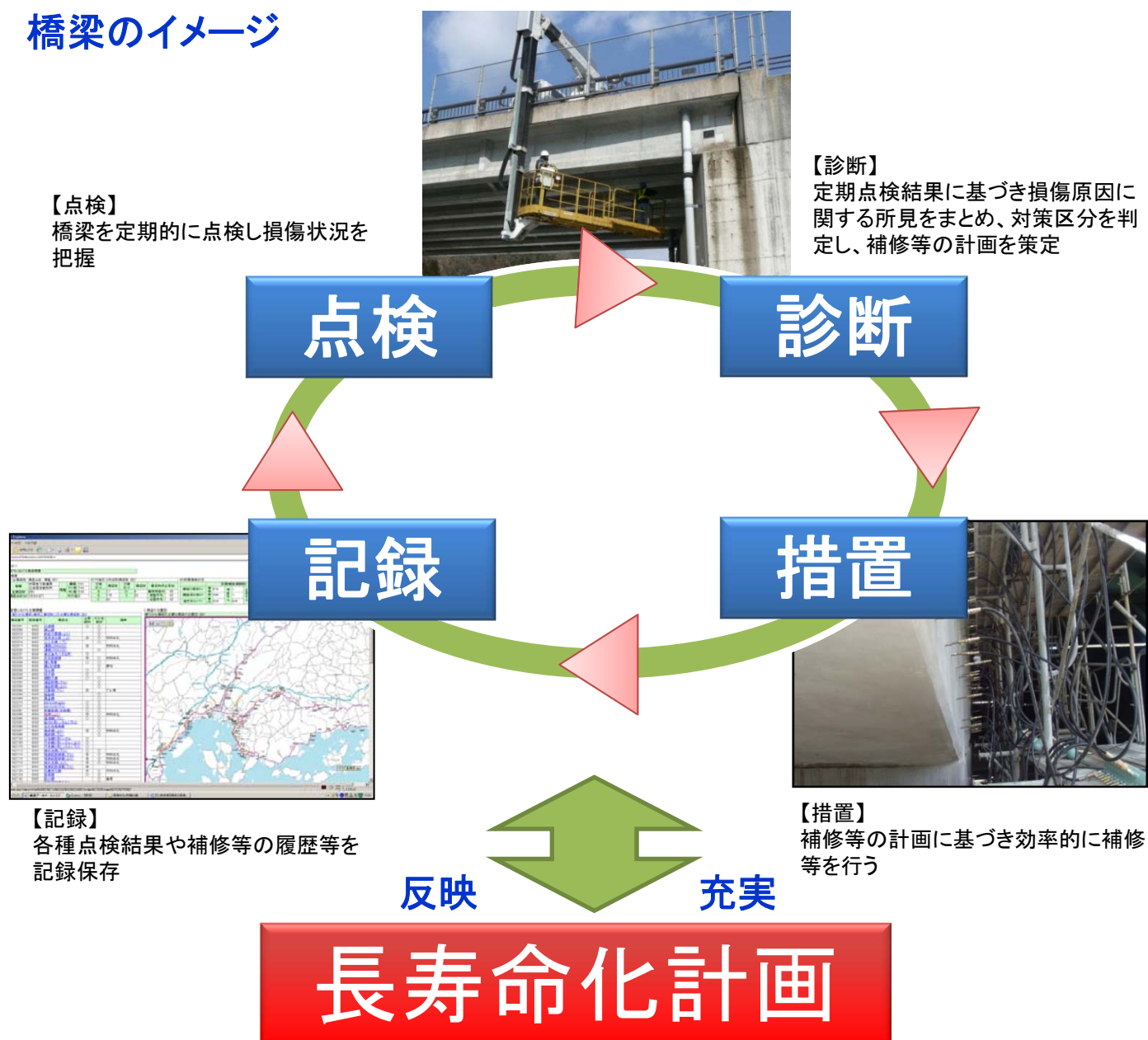
(3)老朽化対策とは

③ 長寿命化計画

●メンテナンスサイクルの構築

安全安心を確保するため、**点検**→**診断**→**措置**→**記録**→(次の点検)という**メンテナンスサイクル**を通じて、**長寿命化計画※**等の内容を充実し、予防的な保全を効率的、効果的に進めます。

橋梁のイメージ

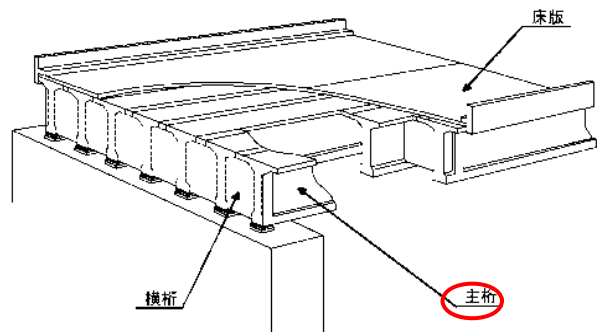
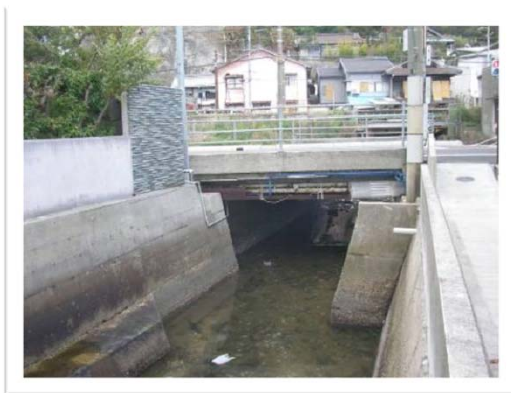


(4)老朽化（損傷・補修）事例

①橋の代表的な損傷（三大損傷）

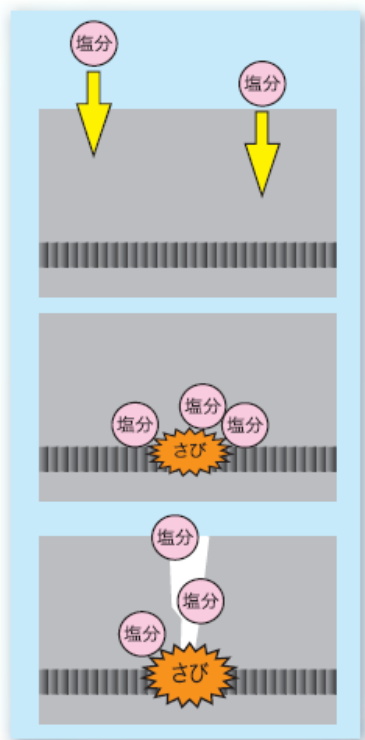
塩害

●コンクリート中の鉄筋などの鋼材が、塩化物イオンの侵入により腐食することで、コンクリートにひびわれや剥離が生じる損傷。



国道31号 吉屋橋（広島県呉市天応）

劣化過程



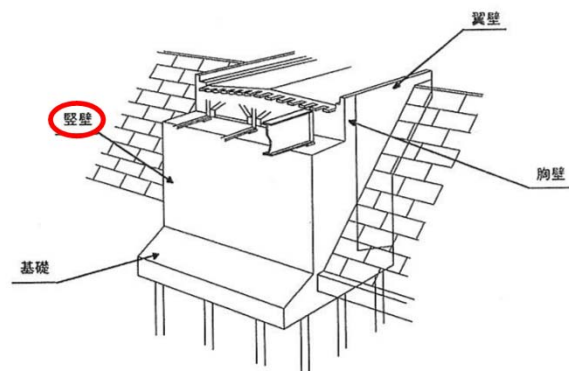
塩害により主桁に発生した
コンクリート剥離による鉄筋の露出

(4)老朽化（損傷・補修）事例

①橋の代表的な損傷（三大損傷）

アルカリ骨材反応

●コンクリート中の骨材（石）に反応性の鉱物が含まれていた場合、コンクリート中のアルカリ性の水分と反応し、骨材が異常膨張して亀甲状のひびわれが生じる損傷。



国道2号 美鈴橋(上り)(広島市佐伯区五日市町)

劣
化
過
程



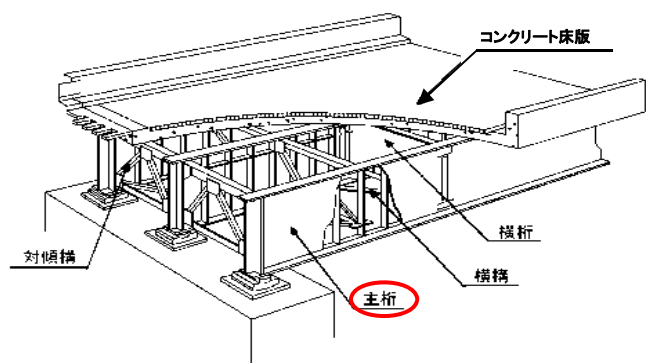
アルカリ骨材反応によるひびわれ

(4)老朽化（損傷・補修）事例

①橋の代表的な損傷（三大損傷）

疲労

●大型トラック等が多数走行することによる繰り返し荷重で疲労が累積され、鋼部材では亀裂、コンクリート床版ではひびわれが生じる損傷。



国道54号 新井羅原橋(島根県雲南市三刀屋町)



主桁の鋼部材に発生した疲労亀裂

(4)老朽化（損傷）事例

② 地方公共団体が管理する橋梁の損傷事例（益田市）

～ 吊索、床組の腐食・断面欠損 ～

■位置図



■概要

施設名： 飯田吊橋
（いいだつりばし）
路線： 市道須子飯田線
位置： 島根県益田市須子町～益田市飯田町
橋種： 3径間2ヒンジ単純吊橋
単純RC床版橋
橋長： 165.6m（4径間）
幅員： 3.3m（有効幅員3.0m）
竣工： 1955年（築58年）
交通量： 450台／日
修繕実施年度： H24～H27（予定）

■全景写真



吊索の損傷

〔直径28mmの吊索に
21～22mm程度まで断面欠損が進行〕



床組の損傷

（鋼部材の激しい腐食）

(4)老朽化（損傷）事例

② 地方公共団体が管理する橋梁の損傷事例（呉市）

～ 主桁、床版コンクリートにひび割れ・剥離・鉄筋露出 ～

■位置図



■概 要

施設名：宝橋

（たからばし）

路 線：市道幸町海岸線

位 置：広島県呉市宝町

橋 種：PC単純ポステンT桁橋

橋 長：58.92m（3径間）

幅 員：14.50m（車道部幅員9.5m）

竣 工：1961年（築52年）

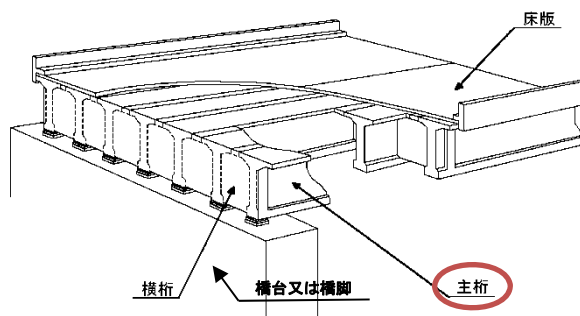
交通量：13,300台/日

修繕実施年度：H25～26（予定）

■全景写真



【参考】橋梁部材名称



主桁の損傷

はくり
（ひび割れ・剥離・鉄筋露出）

(4)老朽化（損傷）事例

② 地方公共団体が管理する橋梁の損傷事例（長門市）

～ 主桁・支承の腐食、床版・橋脚の剥離、鉄筋露出 ～

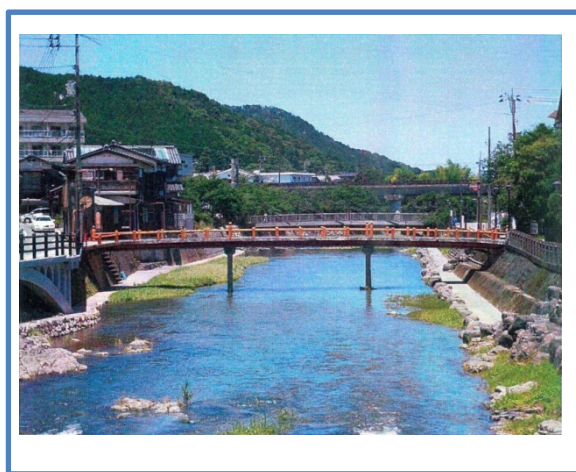
■位置図



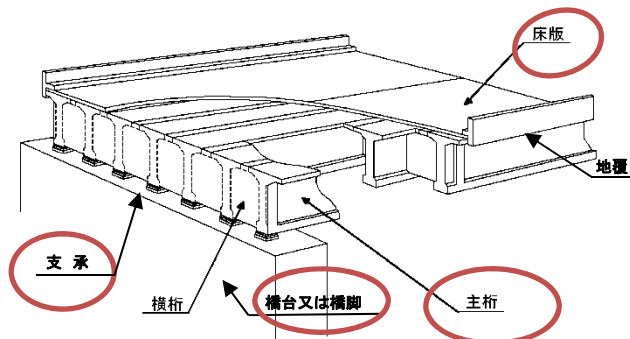
■概 要

施設名： 八千代橋
（やちよばし）
路 線： 市道八千代線
位 置： 山口県長門市深川湯本
橋 種： 鋼H桁コンクリート床版橋
橋 長： 28.0m（3径間）
幅 員： 3.16m（車道部幅員2.66m）
竣 工： 1963年（築50年）
修繕実施年度： H26（予定）

■全景写真



【参考】橋梁部材名称



床版下部の損傷

鉄筋の露出・腐食・減肉
および破断、コンクリートの剥離



支承・主桁の損傷

支承の発錆・縁端部の腐食、
主桁塗装の発錆・剥離



橋脚の損傷

鉄筋の露出および腐食、
コンクリートの剥落、ジャンカ

(4)老朽化（損傷）事例

② 地方公共団体が管理する橋梁の損傷事例（広島市）

～ 主桁の鋼材に腐食、床版に剥離・鉄筋露出 ～

■位置図



■概 要

施設名：京橋

（きょうはし）

路 線：市道南3区7号線

位 置：広島市南区京橋町～中区橋本町

橋 種：ゲルバー桁鉄桁橋

橋 長：64.8m（3径間）

幅 員：7.9m（車道部幅員5.7m）

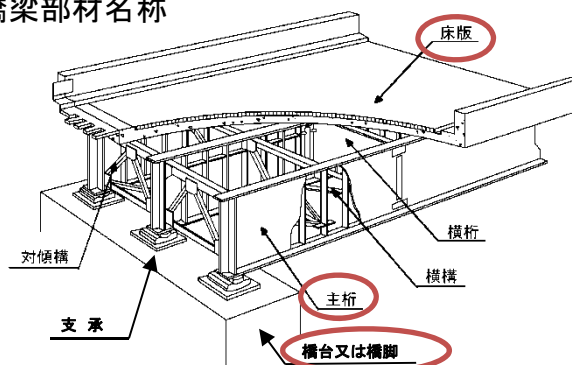
竣 工：1927年（築86年）

修繕実施年度：H26（予定）

■全景写真



【参考】橋梁部材名称



主桁の損傷
（腐食）



床版の損傷
（コンクリート剥離・鉄筋露出）



橋台の損傷
（ひび割れ）

(4)老朽化（損傷）事例

② 国が管理する橋梁の損傷事例

～ 横桁及び支承の腐食 ～

■位置図



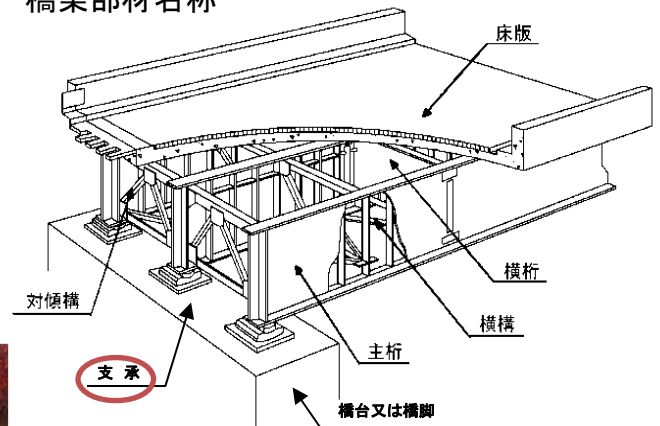
■概要

施設名：根之谷橋（ねのたにばし）
路線：一般国道54号
位置：広島県広島市安佐北区大林町
～安芸高田市八千代町
橋種：2径間連続PCプレストレストコンクリート桁橋
3径間連続鋼トラス橋
橋長：216.9m（5径間）
幅員：12.5m（車道部幅員7.8m）
竣工：1980年（築33年）
交通量：14,975台/日
修繕実施年度：H25

■全景写真



【参考】橋梁部材名称



支承の損傷（腐食）

補修済



金属溶着による防錆処理

(4)老朽化（補修）事例

③ 地方公共団体が管理する橋梁の補修事例（倉吉市）

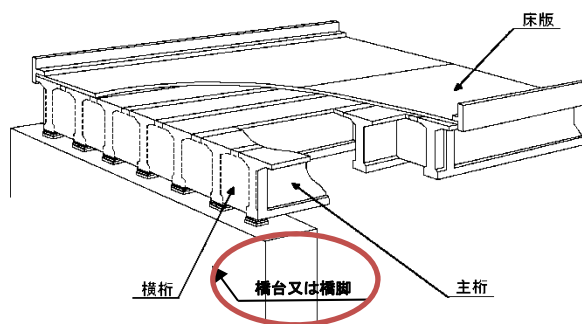
市道本町大鳥居線 南谷橋(なんごくばし)において、平成21年度に実施した点検により、主桁橋座の欠損及び橋脚の局所的な剥離・鉄筋露出を確認。大型車通行規制を行い、平成22年度に補修を実施。

橋梁名： 南谷橋(なんごくばし)
所在地： 市道本町大鳥居線
鳥取県倉吉市関金町関金宿
竣工年： 1936年
橋 長： 144.85m(12径間)
幅 員： 6.20m
(車道部幅員5.65m)

【全景写真】



【参考】 橋梁部材名称



補修前

主桁橋座の損傷

(主桁の橋座が欠損し、腐食したアンカーバーが確認される)

補修後



補修後



補修状況

主桁橋座の補修

(鉄筋を組み直し、断面修復)

主桁橋座の補修

(鉄筋を組み直し、断面修復)

(4)老朽化（補修）事例

③ 地方公共団体が管理する橋梁の補修事例（新見市）

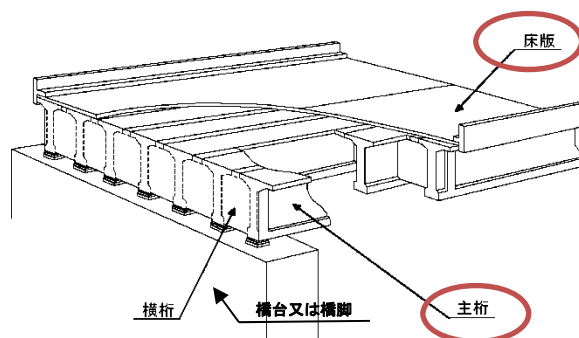
市道明治町元町線 御茶屋橋（おちゃやばし）において、平成21年度に実施した点検により、床版・主桁及び橋脚の剥離・鉄筋露出を確認。
平成25年度に補修を実施。

橋梁名： 御茶屋橋（おちゃやばし）
所在地： 市道明治町元町線
岡山県新見市高尾～新見
竣工年： 1937年
橋 長： 41.5m（3径間）
幅 員： 7.5m
（車道部幅員7.0m）

【全景写真】



【参考】 橋梁部材名称



【補修状況】

補修前



床版の損傷
（スケーリング・欠損）



補修後

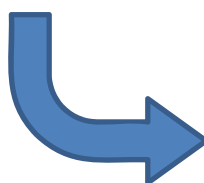


床版の補修
（断面修復工）

補修前



主桁の損傷
（下面の鉄筋が露出）



補修後



主桁の補修
（断面修復工）

(4)老朽化（補修）事例

③ 地方公共団体が管理する橋梁の補修事例（岡山市）

市道中川町海吉線 中川橋（なかがわばし）において、平成20年度に実施した点検により、PC桁や橋台のひびわれ・鉄筋露出を確認。

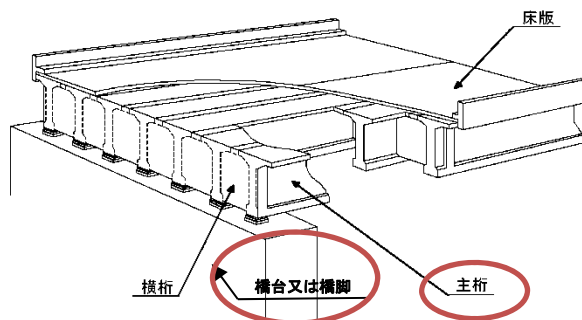
平成24, 25年度に補修を実施。

橋梁名： 中川橋（なかがわばし）
所在地： 市道中川町海吉線
岡山県岡山市東区中川町
竣工年： 1980年
橋 長： 206. 2m（6径間）
幅 員： 6. 0m
（車道部幅員5. 5m）

【全景写真】



【参考】 橋梁部材名称



補修前



橋台の損傷
（コンクリートのひびわれ）



補修後



橋台の補修
（ひびわれ注入工）

補修前



上部工の損傷
（鉄筋露出）



補修後



上部工の補修
（断面修復工）

(4)老朽化（補修）事例

③ 国が管理する橋梁の補修事例

一般国道54号下出来山橋において、平成21年度に実施した定期点検により、雨水等が原因と推定される桁・支承の腐食を確認。

平成24年度に補修を実施。

【全景写真】

橋梁名： 下出来山橋(しもできやまばし)

所在地： 一般国道54号

島根県雲南市掛合町大字入間

竣工年： 1971年

橋 長： 43m

幅 員： 9.6m(車道部幅員6.5m)



【補修状況】



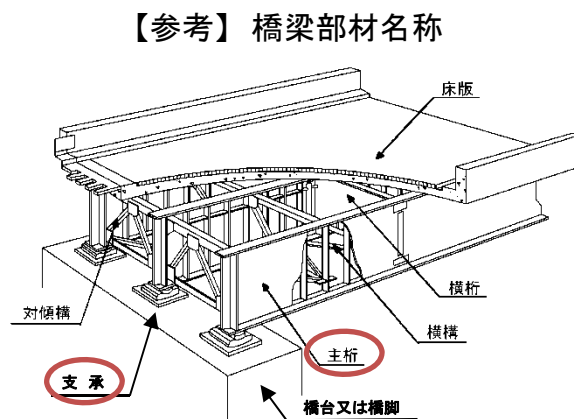
補修前

支承の損傷（腐食）

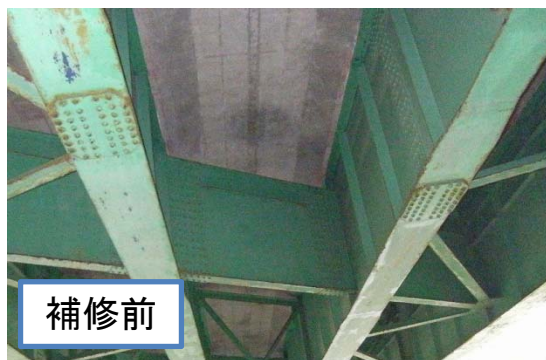


補修後

支承の補修
(金属溶射による防錆処理)



【参考】 橋梁部材名称



補修前

桁の損傷（腐食）



補修後

桁の補修（塗り替え）

(4)老朽化（補修）事例

③ 国が管理する橋梁の補修事例

一般国道9号永江川橋において、平成23年度に実施した定期点検により塩害が原因と推定される床版の剥落、鉄筋露出を確認。

平成25年度に補修を実施。

【全景写真】

橋梁名： 永江川橋(ながえがわばし)
所在地： 一般国道9号
鳥取県鳥取市気高町浜村西濱
竣工年： 1983年
橋 長： 31.7m
幅 員： 26.6m
(車道部幅員16.5m)

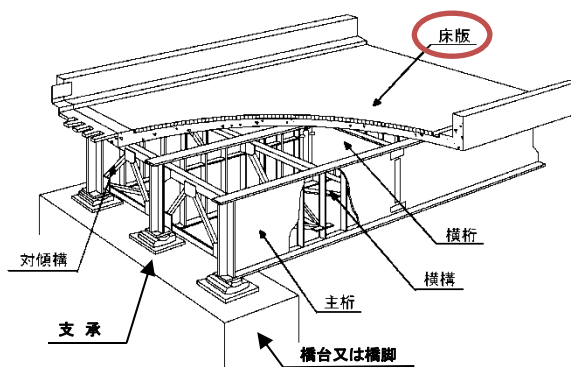


【補修状況】



床版下面の損傷
(コンクリートの剥落・鉄筋露出)

【参考】 橋梁部材名称



床版下面の補修
(断面修復)

(4)老朽化（補修）事例

③ 国が管理する橋梁の補修事例

一般国道2号美鈴橋において、平成21年度に実施した定期点検によりアルカリ骨材反応が原因と推定される橋脚ひびわれを確認。

平成22年度に補修を実施。

【全景写真】

橋梁名： 美鈴橋(上り)(みすずばし(のぼり))

所在地： 一般国道2号

広島県広島市佐伯区五日市町

竣工年： 1973年

橋 長： 61. 5m

幅 員： 13. 05m

(車道部幅員7. 0m)



【補修状況】

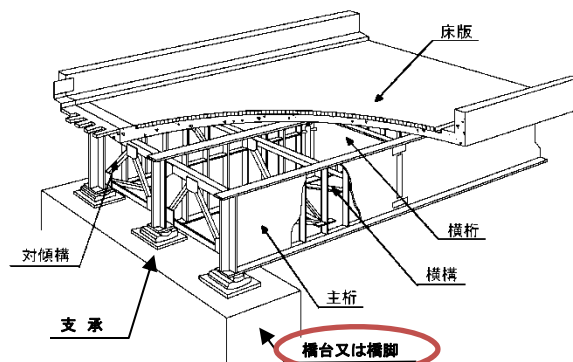


補修前



橋脚の損傷（ひびわれ）

【参考】 橋梁部材名称



補修後



橋脚の補修（断面修復・ひびわれ注入・表面保護等）

(5)老朽化における取り組み

① 直轄国道における橋梁点検内容

～損傷の早期発見に向けた取り組み～

同じ橋に対して次の点検を組み合わせる実施し、損傷の早期発見に努めていくとともに、「見過ごし」がないよう技術力の向上に努めていきます。

①日常点検・保守

日々の道路巡回（パトロールカー内からの目視点検）により、伸縮装置部からの異音、路面の段差、部材の破断などの異常がないか把握し、適宜の措置を実施します。

②定期点検

供用後2年以内に初回点検を、その後は5年以内に、全部材に近接目視を基本とした点検を実施します。

③特定点検

●第三者被害予防措置点検（第三者点検）

コンクリート部材の一部が落下して第三者に与える被害を予防することを目的に、2～3年毎に、打音検査、浮いているコンクリートの叩き落としを実施します。

●塩害に関する特定点検（塩害点検）

塩害地域の橋梁を対象に、コンクリート中の塩化物イオン量の調査等を10年毎に実施します。

④異常時点検

地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害時や、橋梁に予期していなかった異常が発見された場合などに、各々の事象に特化した点検を実施します。



パトロール車による道路巡回



橋梁点検車による定期点検

(5)老朽化における取り組み

② 地方公共団体への支援活動の取り組み

- 橋梁点検等講習会の開催を通じ、橋梁保全(長寿命化)の取り組みが進むよう、地方公共団体職員の技術力の向上に努めます。
- 現場点検実習を核とした橋梁保全実践講座を、地方公共団体管理の未点検橋梁等で実施します。
- その他、地方公共団体への橋梁点検車の貸し付け、橋梁保全技術の情報提供等を実施します。

【点検講習会の開催】

橋梁点検講習会の実施状況



橋梁点検講習会の実施状況



(5)老朽化における取り組み

② 地方公共団体への技術支援取り組み事例 ①

橋梁技術現場支援セミナー

【目的】

橋梁の維持管理に必要な広範な知識の習得を図ることを目的とし、橋梁点検から診断、調査、設計手法、補修・補強工法までの講義と現地実習を行います。

中国地方整備局の職員を対象に平成16年度から開催していたセミナーの対象を、平成19年度より地方公共団体職員に拡げ、年1回実施。

平成25年度迄に延べ343名が参加。(内、地方公共団体職員数:203名)

【平成25年度の実施状況】

実施期間:平成25年9月17日～20日

実施場所:中国技術事務所 研修所

受講者:中国地方整備局8名

地方公共団体職員29名(各県9、政令市2、市町村18)



(5)老朽化における取り組み

② 地方公共団体への技術支援取り組み事例 ②

橋梁点検講習会



【目的】

各県等が定める点検要領に基づく点検実習を行うとともに、点検と橋梁保全の基礎技術の習得を図ることを目的として開催しています。なお、各県又は政令市との共催として取り組んでいるものです。

地方公共団体職員を対象に各県との共催により平成19年度から各県単位で年1回実施。平成25年度迄に延べ1,138名が参加。

【平成25年度の実施状況】

- 鳥取県橋梁点検講習会
実施日：平成25年10月30日～31日
実施場所：鳥取県倉吉市 鳥取県建設技術センター／受講者：12名
- 島根県橋梁点検講習会
実施日：平成25年10月10日～11日
実施場所：島根県出雲市 出雲合同庁舎／受講者：12名
- 岡山県橋梁点検講習会(岡山県橋梁保全(上級)研修)
実施日：平成25年10月10日～11日
実施場所：岡山県岡山市 岡山県建設技術センター／受講者：32名
- 広島市橋梁点検講習会
実施日：平成25年11月21日
実施場所：広島市東区 広島市研修センター／受講者：33名
- 山口県は県主催の研修に講師派遣(平成25年11月20日)

(5)老朽化における取り組み

② 地方公共団体への技術支援取り組み事例 ③

橋梁保全実践講座の開催(H23～)

【目的】

地方公共団体管理の道路橋において、長寿命化の取り組みが進展するよう、橋梁点検現場実習を核とした実践的な講座を実施し、橋梁点検技術の習得と橋梁保全に関する意識の高揚を図ることを目的として実施しています。平成25年度迄に10市町22橋梁で実習等を実施し、160名の参加がありました。

【技術支援実施概要】

- ・橋梁点検現場実習
- ・橋梁点検の着眼点等講義など



橋梁保全実践講座の実施状況

(5)老朽化における取り組み

③

地方公共団体への支援体制

○老朽化対策等に係る地方公共団体からの支援相談窓口の設置(H25.7.16)

中国地方整備局窓口一覧

【全体総括、その他記載以外】

◇企画部 事業調整官
082-511-6097

【河川・ダム・砂防・海岸関係】

◇河川部 地域河川調整官
(河川砂防保全技術支援チーム)
082-221-9231(内線:3517)

【道路関係】

◇道路部 地域道路調整官
082-221-9231(内線:4118)

【港湾・空港関係】

◇港湾空港部
港湾空港情報管理官
082-511-3907

【都市公園・下水道・公営住宅関係】

◇建政部 都市・住宅整備課長
082-221-9231(内線:6161)

【公共建築関係】

◇営繕部 計画課長補佐
082-221-9231(内線:5153)